

漫湖公園スポーツエリアに関するアンケート調査(第2回) 調査結果

調査概要

【目的】

- 漫湖公園スポーツエリアの検討にあたり、整備の方向性や考え方を把握するため、アンケート調査を実施する。

【実施期間】

令和8年1月9日(金) ~ 令和8年2月9日(月)

【調査方法】

Web アンケートにて実施

【周知方法】

(公園利用者等向け)

- 本市ホームページへの掲載
- 漫湖公園・新都心公園、漫湖水鳥・湿地センター、スポーツデポ那覇店へのポスター掲示
- 那覇市公共施設予約サービス

(近隣地域住民向け)

- 周知チラシの配布(約 500 世帯)

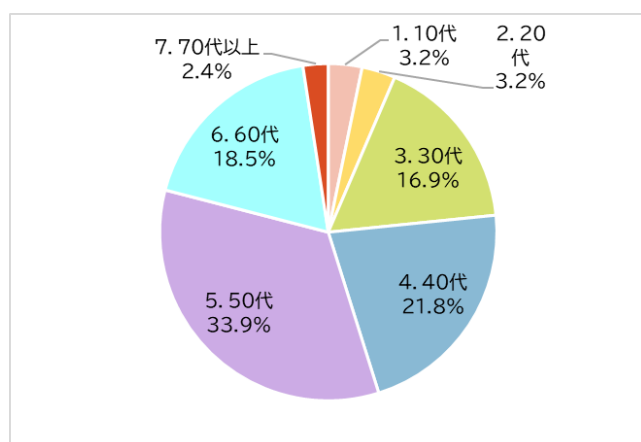
【回答サンプル数】

124 件(公園利用者等 66 件、近隣地域住民 58 件)

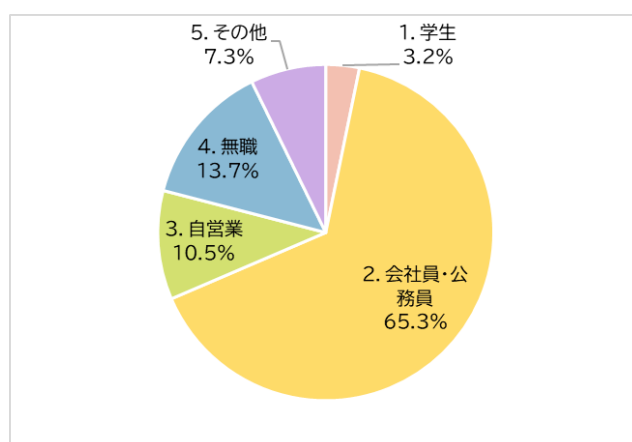
調査結果

No1 回答者の属性について(ご年齢・ご職業)

■回答者の年齢構成



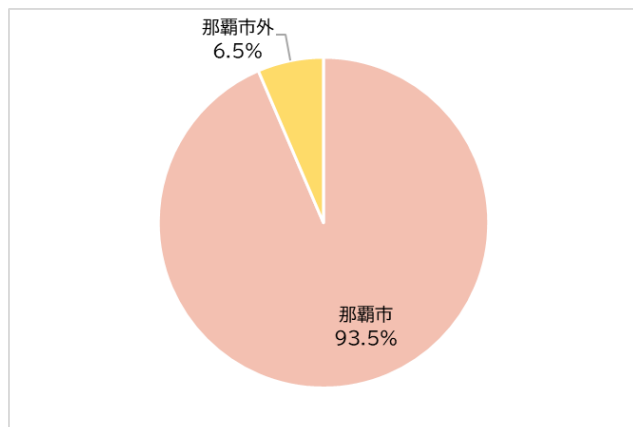
■回答者の職業構成



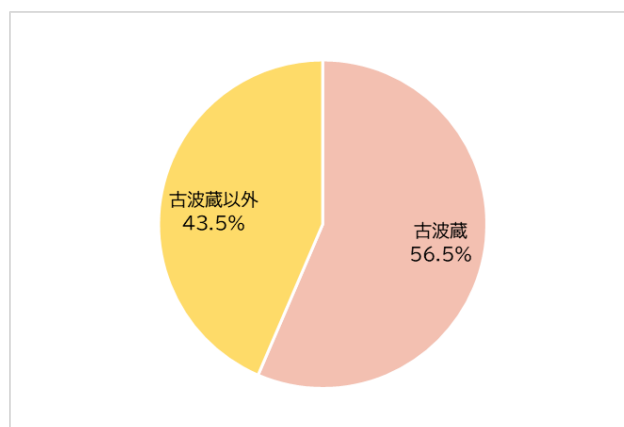
- 回答者の 91.1%が 30 代から 60 代となっています。
- 回答者の 65.3%が会社員・公務員となっています。

No2 回答者の属性について(お住まい)

■回答者のお住まい(市内・市外)



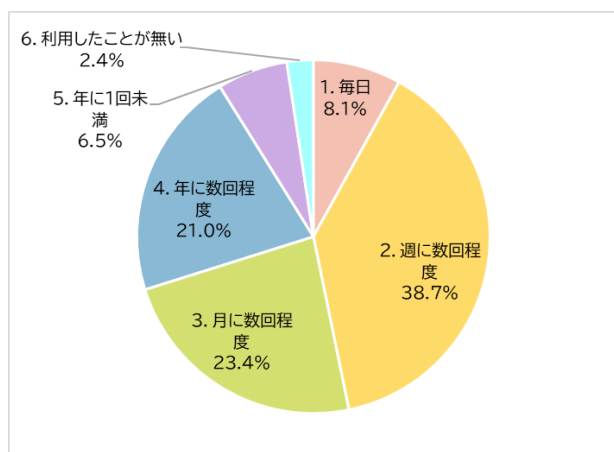
■回答者のお住まい(市内のうち)



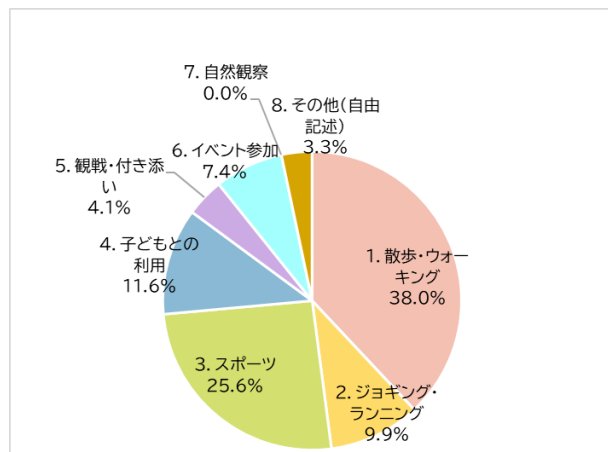
- 回答者の 93.5%が那覇市内在住となっています。そのうち、56.5%が古波蔵在住となっています。

No3 回答者の漫湖公園の利用方法について

■回答者の利用頻度

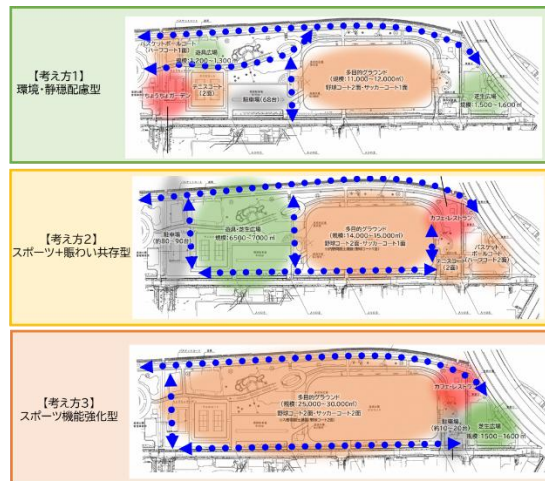
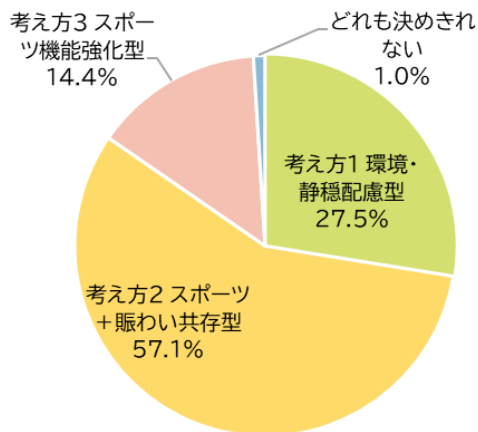


■回答者の利用目的



- 回答者の 70.2%が「月に数回程度」以上利用しています。
- 利用目的として「散歩・ウォーキング」が特に多く、次いで「スポーツ」となっております。

No4 漫湖公園スポーツエリアの再整備に関する最も望ましい考え方について

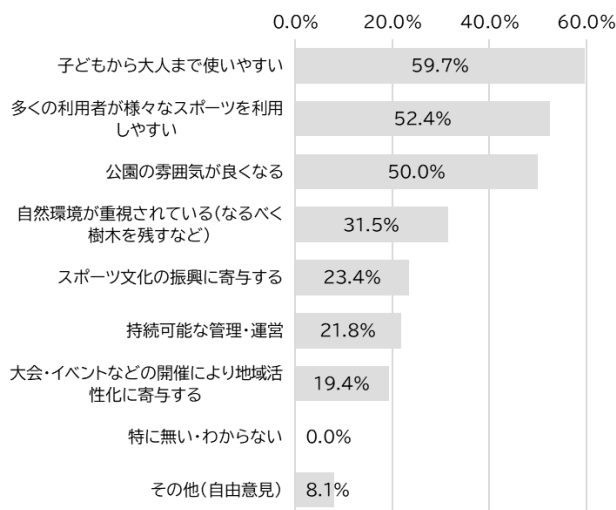


※いずれの案もあくまで考え方を把握するためのイメージです。今後の検討の中で配置が変更する場合もございます。
※方向性決定については、選んだ理由や重視してほしい点も踏まえたうえで、総合的に判断する予定です。

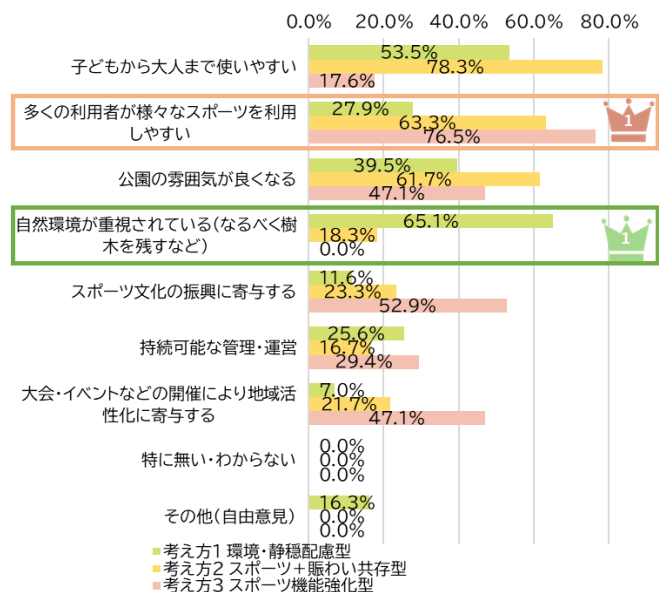
- 回答者の50%以上が「考え方2 スポーツ+賑わい共存型」を選択

No5 No4を回答した理由について

■ 選択理由(全体)

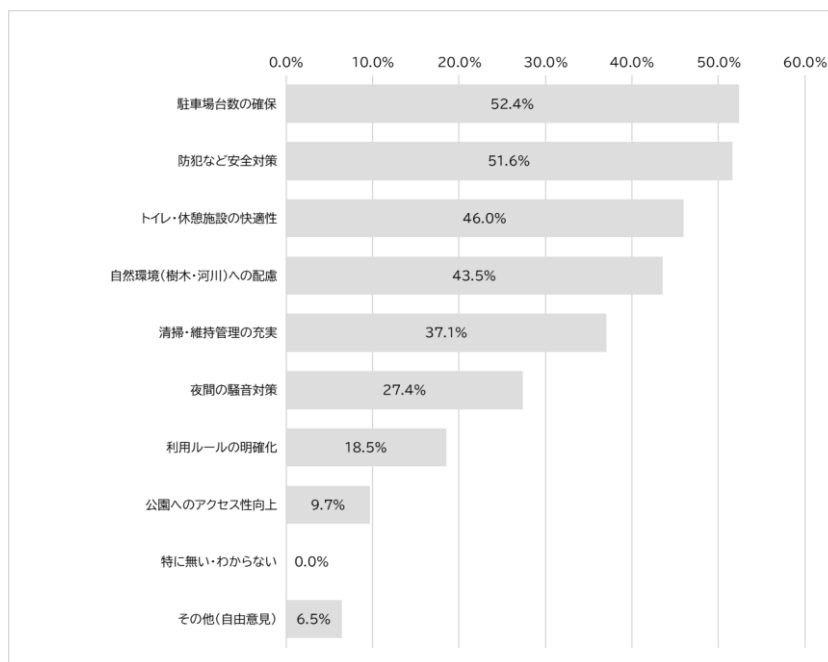


■ 選択理由(各案ごと)



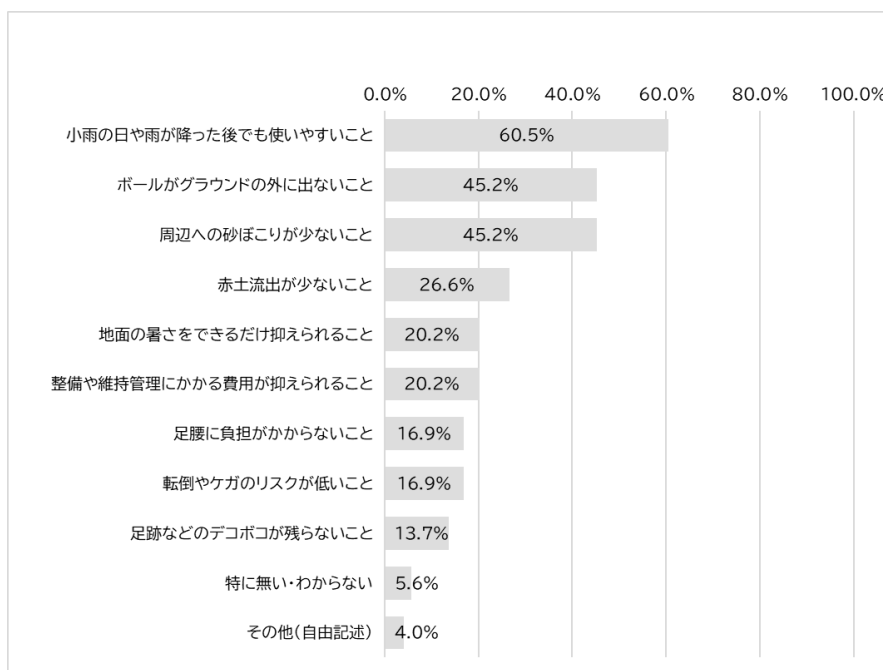
- 全体の選択理由では、「子供から大人まで使いやすい」「多くの利用者が様々なスポーツを利用しやすい」「公園の雰囲気が良くなる」が多く回答があります。
- 「考え方1 環境・静穏配慮型」を選んだ回答者は、「自然環境が重視されている」の選択が最も多く、全体の回答数としては比較的少数ではあるが、特定の層には重視されています。
- 「考え方3 スポーツ機能強化型」を選んだ回答者は、「多くの利用者が様々なスポーツを利用しやすい」の選択が最も多いですが、「考え方2 スポーツ+賑わい共存型」の回答者も同項目を上位に選択しており、両者の希望は一定の類似性がございます。

No6 『漫湖公園スポーツエリア』の再整備にあたって特に重視してほしい点について(複数回答可)



- 回答者のうち50%以上が「駐車場台数の確保」「防犯などの安全対策」を重視しております。

No7 多目的グラウンドを検討する際に特に大切にしてほしい点について



- 回答者のうち「小雨や雨が降った後でも使いやすいこと」を選択する人が60%で最も多く、次いで「ボールがグラウンドの外に出ないこと」「周辺への砂埃が少ないこと」が45.2%と多く選択されております。

No8 漫湖公園スポーツエリアや漫湖公園全体、市内多目的グラウンド等に関する自由記述について
(テキスト生成 AI にて要約)

1. 安全・安心の確保

照明設備(防犯灯)の増設:夕方・夜間の暗さを解消し、防犯・安全・利便性を向上させる。

夜景としても楽しめるような景観整備も検討。

治安対策の強化:防犯カメラの設置

未成年者の溜まり場化、暴走族の侵入、喫煙・ポイ捨て、自転車の通行、駐車場の隅への節句、不法駐車、バイクの公園内侵入などの防止強化。

公園内への車両侵入防止策。

環境美化:野球場や柵の傷み・管理強化。

公園内清掃の維持管理強化。地域住民との連携。

木の根による歩道の圧迫補修。

ガードレールの交換(錆びによる危険箇所)。

2. 公園アクセス・利用環境の向上

駐車場:増設の要望:サッカーや野球などのイベント時にはすぐに満車になる。

優先順位:「最低限満たすべき前提条件」として最優先で実施すべき。

その他の交通手段と移動環境:

代替交通手段の利用促進:モノレール、自動車、電動キックボードなどの利用環境の向上。

自転車道・ランニングコースの整備:自転車の乗り入れが多いため、自転車道・ランニングコースが必要。

周辺道路への影響:

交差点への懸念:自宅からの出庫が困難になるほどの渋滞が発生。

道路拡幅の必要性:道路が細く狭いため、渋滞が発生する。

3. スポーツ施設の整備・維持

多目的グラウンド:人工芝化、ナイター設備設置の要望。

利用率の低いグラウンドの縮小・廃止、または利用率の高い施設への転用を求める声。

特定のスポーツ利用に偏らない運用。

少人数で気軽に利用できる自由な空間の必要性。

サッカー場:那覇市のサッカー競技場不足を指摘し、整備の必要性を訴える声。

家族連れも楽しめる休憩場所や日陰の確保。水はけの改善。

テニスコート:存続・増設の強い要望。生涯スポーツとして利用者が多い。

オムニコート、ハードコート、両方で利用する。

利用率の低いグラウンド拡大より、テニスコート増設を優先すべきとの意見。

バスケットコート:増設の要望。

マンション等から離れた位置への配置(騒音対策)。

その他のスポーツ施設:海外のマッスルビーチのような筋トレ施設を求める声。

4. 自然環境・景観の保全

自然環境の保護と維持:

ラムサール条約地としての配慮:現状の豊かな自然と静かな環境を保全した公園整備を望む。

樹木・緑地の管理:緑地は視覚的にも重要。木や草の形状を考慮し、手入れを行なう。

動物への配慮:「ちょうちょガーデン」の再整備や動物との共存に対する配慮

景観の改善と魅力向上:湖畔景観の整備:対岸の景色の眺め向上。

噴水の再稼働:にぎわいを創出。全体的な雰囲気向上:管理不足による荒廃を懸念。

環境問題への対策:

砂ぼこり対策:ベランダや車が汚れることへの不満

5. 利便施設(カフェ・レストラン等)の必要性

カフェ設置の賛否:

賛成意見:公園の滞在価値を高め、多世代が利用しやすい公園づくりにつながる。

読谷村のような図書館併設型のカフェを望む。

反対意見:公園本来の目的から逸脱している。

カフェには需要が無い。

その他の商業施設・利便施設の要望:

コンビニエンスストアの設置:利便増進施設として整備希望。

6. 住民との調和・管理体制

周辺住民との連携:各自治会等と連携し美化活動を行い、市民のモラルを高めることの重要性。

迷惑行為の対応:暴走族、夜間の中高校生、喫煙、違法駐車、ペットの放し飼い、餌付け、自転車乗り入れへの対応。

7. 計画全般に対して

透明性:検討過程を明らかにし、委員会の構成員と会議録も合わせて公表。

計画の方向性:グラウンド拡大の根拠不足:「利用率が低い」というアンケート結果に反して拡大を検討するのか。その他、合理的な説明がない。

最終的な公園像:美ら公園から漫湖公園、漫湖水鳥センターまでの地域連携。周辺の公園を含めて検討。スポーツ中心ではなく、誰もが利用できる多機能公園を目指す。